

町会報

えひめ

2015

5

Vol.74

発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



Contents

町(市)新規・初級職員研修会	2~3
平成27年度町村議会議長・副議長研修会	3
議長会第1回臨時総会／新議長紹介	4
随想 吉谷友一伊方町議長	5
町からのお知らせ	6
一筆	7
5月の行事	7
サマージャンボ[お知らせ]	8

砥部町「ほたるの乱舞」

6月上旬、町内のいろいろな場所で、ほたるを見ることができます。

外山地区、川中地区、玉谷地区、高市地区では、ほたる祭りも行われています。

小川の両岸で見ることのできるほたるは、ほのかな光を放ち、見る人の心を幻想的な気持ちにさせます。

(写真は高市地区での撮影。長時間露光で撮影し、画像を加工しています。)

新規採用・初級職員研修会

あわせて87人が受講

本会は、本年度の「町(市)職員研修計画」に基づいて、新規採用職員研修会「初級職員研修会」(5月20日から22日まで)をえひめ青少年ふれあいセンター(松山市上野町)において、それぞれ実施した。

新規採用職員研修、初級職員研修の修了証書に替えて別項「受講者名簿」を掲載する。

平成27年度「新規採用職員研修会」受講者名簿

市町名	課名	氏名
上島町	住民課	村上真由子
〃	建設課	羽藤 義将
〃	建設課	菅 勝
〃	生涯学習課	徳永 泰明
〃	健康推進課	木俣 拓夢
〃	産業振興課	前田 朋子
〃	産業振興課	森崎 洋介
〃	住民課	山上 結花
〃	住民課	田名後 滯
久万高原町	保健福祉課	團上 昂志
〃	住民課	平川 健太
〃	農政課	高岡 光
〃	農政課	上本慎太郎
松前町	産業課	安藤 恵美
〃	上下水道課	宮家 海斗
〃	総務課	小池 知子
〃	健康課	永田 純子
〃	松前保育所	神山恵理香
〃	小富士保育所	喜安 真実
〃	松前幼稚園	和田ひかる



「地域づくり」講師：阪本松野町長

市町名	課名	氏名
松前町	古城幼稚園	佃 侑季
〃	会計課	仲田 鹿人
〃	戸籍税務課	福岡 健一
〃	生活環境課	森 大三朗
〃	生活環境課	久保 賢憲
〃	建設課	田中 優也
〃	建設課	政岡 貴洋
〃	社会教育課	城戸 慎也
〃	麻生幼稚園	渡部 佳織
〃	宮内幼稚園	清家 知里
〃	砥部幼稚園	中村美紀子
〃	砥部保育所	藤田 咲
〃	宮内保育所	金子 莉奈
〃	総務課	亀岡健一朗
〃	保健福祉課	明智 環奈
〃	町並・地域振興課	児玉 芳樹
〃	保健福祉課	東山 麻依



市町名	課名	氏名
内子町	学校教育課	筒井 陽香
〃	保健福祉課	亀沖菜津美
伊方町	総務課	吉田 航大
〃	教育委員会	井上莉沙子
〃	福祉課	井村 詩織
〃	保健介護課	上田 陽
松野町	町民課	芝 大貴
〃	教育課	土居かすみ
鬼北町	地域振興課	山下 勝弘
〃	水道課	松岡 泰史
〃	総務課	兵頭 久弘
〃	近永保育所	高田玖美子
〃	さくら保育所	布 悠花
愛南町	高齢者支援課	村上 志子
〃	町民課	太田 伊代
〃	防災対策課	梶田 公仁
〃	建設課	田村 直登
〃	建設課	鶴川 知也
愛媛県市町村職員共済組合	総務課	井上 周市
〃	施設課	古川 左京

市町名	課名	氏名
愛媛県町村会	総務課	真鍋 侑里
〃	総務課	真鍋 侑里
平成27年度「初級職員研修会」受講者名簿		29人
市町名	課名	氏名
上島町	総務課	森本美智子
松前町	税務課	山村 凌史
〃	税務課	加藤 潤也
〃	まちづくり課	青野 雅雄
〃	国民体育大会準備室	
〃		吉岡 昭嘉
〃		渡邊 志帆
〃		山本 雄輝
〃		西崎 恭平
〃		山田 正樹
〃		西岡 成美
〃		仲岡 秀基
〃		松本 義行
〃		田淵あかね
〃		福岡 美穂
〃		白尾 育実
〃		土井 幸二
〃		川本 将樹
〃		勝間 郷
〃		村井 芽依
〃		河野 宏典
〃		八十島絵莉加
〃		山崎 夏美
〃		宮原 星
〃		河野 早穂
〃		山上和嘉子
〃		河野健太郎
〃		加藤健太郎
〃		木下 貴之
愛媛県町村会	事業課	新潟 拓也

平成27年度 町(市)初級職員研修会 研修日程

Table with 4 columns: 時間帯, <第1日目> 5月20日(水), <第2日目> 5月21日(木), <第3日目> 5月22日(金). Rows include activities like 起床, 朝の集い, 研修準備, 地方自治制度, 自己啓発, 地域づくり, 法制選挙制度, フリー, タベの集い, ふれあい研修, 入浴, 消灯.

平成27年度 町(市)新規採用職員研修会 研修日程

Table with 4 columns: 時間帯, <第1日目> 5月20日(水), <第2日目> 5月21日(木), <第3日目> 5月22日(金). Rows include activities like 起床, 朝の集い, 研修準備, 公文書の作成と扱い, 研修会場 受付, 職業人の心構え, 先輩職員の経験談, 地方公務員共済制度, 地域づくり, 先輩職員の経験談, 電話応対, 地方自治・財政・税のしくみ, テルウェル西日本, チーフインストラクター, フリー, タベの集い, ふれあい研修, 入浴, 消灯.



平成27年度町村議会議長・副議長研修会

中野サンプラザで開く

全国町村議会議長会主催による平成27年度町村議会議長・副議長研修会が、5月26・27日の両日、東京・中野サンプラザホールで開催され、本県から21名の正副議長ほか関係者が出席した。

研修会は、蓬全国町村議会議長会会長(香川県直島町)の開会のあいさつで始まり、次とおり講演やシンポジウムが開催された。

【基調講演・1日目】

○「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」

くふるさと創生から地方創生へ 帝京大学経済学部 地域経済学科教授 内貴 滋氏

【シンポジウム・1日目】

◆テーマ

「これからの町村議会を考える」

コーディネーター 帝京大学経済学部

地域経済学科教授 内貴 滋氏

パネリスト

北海道福島町議会議長

山形県川西町議会議長

山梨県庄和町議会議長

鳥取県日南町議会議長

沖縄県南風原町副議長

知念 富信氏

村上 正広氏

三井 猛氏

加藤 俊一氏

溝部 幸甚氏

内貴 滋氏

加藤 俊一氏

三井 猛氏

溝部 幸甚氏

内貴 滋氏

加藤 俊一氏

三井 猛氏

溝部 幸甚氏

内貴 滋氏

【講演・2日目】

○「日本の健康の鍵は、農山・漁村が握る」

関西大学政策創造学部

教授 白石 真澄氏

○「地方創生と政治・経済の展望」

試される地方自治、

問われる首長と議会

読売新聞東京本社

編集委員 青山 彰久氏

会長に三好勝利氏(松前町議長)を選出

副会長 山下 太三氏(愛南町議長)
監事 松田八重子氏(鬼北町議長)

愛媛県町村議会議長会は、5月26日「平成27年度第1回臨時総会」を開催した。
会議には、県下9町の全議長が出席し、次のとおり進められた。

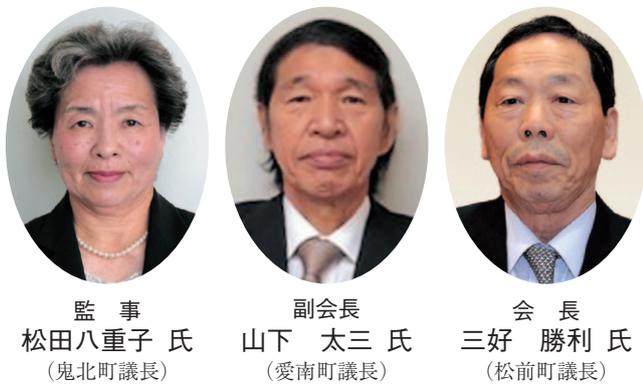
【自己紹介】

- 1 開会
- 2 あいさつ 三好副会長
- 3 会議録署名人の指名 三好副会長が議長となつて、平岡砥部町議長及び板尾松野町議長を指名した。
- 4 報告
 - (1) 行事関係について
 - (2) 本会役員の就任について
 - (3) 議長の変動状況について
 - (4) 常務理事の就任及び事務局長の異動について
 以上の4点について、事務局から説明があり、一同了承した。
- 5 協議
 - (1) 任期満了に伴う会長、副会長及び監事の選挙について
事務局から
「現役員（会長、副会長、監事各1人）の任期が6月2日に満了することから、次期役員を選出するものである。
選出方法は、規約運用内規に基づき、会長は第1ブロックから、副会長及び監事は第2ブロックから選出することとなる」

旨、説明。
協議の結果、一同了承し、ただちに休憩し選挙に入った。
再開後、各ブロックから次のとおり協議結果の発表があり、満場一致で新役員を選出した。

〈新役員〉

会長 三好勝利
副会長 山下 太三
監事 松田 八重子
(北宇和郡鬼北町議長)



監事 松田八重子氏
(鬼北町議長)

副会長 山下太三氏
(愛南町議長)

会長 三好勝利氏
(松前町議長)

なお、任期は平成27年6月3日から平成29年6月2日までの2年間。

- (2) 平成27年度第1回町議会議員研修会について
事務局から資料により開催する旨の説明があり、協議の結果、原案のとおり開催することに決定した。
- (3) 全国過疎地域自立促進連盟の理事について
事務局から、次期理事についての説明があった後、山下愛南町議長を選出することに決定した。
- (4) 公益財団法人愛媛県市町振興協会理事及び評議員候補者の推薦について
事務局から、理事及び評議員についての説明があった後、山下愛南町議長及び松田鬼北町議長を選出することに決定した。
- (5) その他
次回定例会について
日程等、新正副会長に1人任せられた。

新議長紹介

伊方町議会議長

吉谷友一氏

(4月28日付け)



愛南町議会議長

山下太三氏

(5月1日付け)



久万高原町議会議長

高橋末廣氏

(5月8日付け)



内子町議会議長

池田洋助氏

(5月11日付け)



鬼北町議会議長

松田八重子氏

(5月11日付け)



四国の最西端に位置する日本一細長い佐田岬半島が、我が伊方町であります。

半島中央に連なる山々からの眺望は、海山、空のハーモニーが絶景で訪れる人々が感動するほどの自然豊かな美しさを秘め、更に段々畑を形成する恵まれた地勢は柑橘栽培に適し、そして三面に広がる海域は有数の好魚場とされ、こうして昔から伊方町の農業、漁業を支えてきた半島であります。

私はそのような地に生まれ育ち、家業の農業を引き継ぎ44年ひたすら町の特産



佐田岬半島



潮風で育った伊方みかん



峰に設置された風車群



随想

「住民と協働のまちづくりを目指して」

伊方町議会議長 吉谷友一

である柑橘(みかん)栽培を営み農業に愛着を持ち、農業の素晴らしさを感じております。

しかしながら、近年全国的に人口の減少と少子高齢化対策が重要課題となっている中で、我が伊方町も同様の悩みを抱え、都会へと職を求め若年層の人口流出、後継者不足による第一次産業の衰退、限界集落や空き家対策等々の課題が山積みであります。

この課題に更に拍車をかけたのが2011年の3.11東日本大震災に

よる福島第一原発事故であります。このことにより社会情勢が一変し、原発立地市町の地域経済に思わぬ影響が及びました。

議会としても、町民の方々が心豊かに安全で安心して幸せな日々の生活を送れることを第一として、これらの課題を行政との両輪で問題解決に向け全力で取り組む必要があります。

このような中で、今年度から本格化する国策の地方創生「まち・ひと・しごと」事業は地方の自治体にとって有効に活用することこそが町の活性化に繋がると信じております。

町を元気にすることは容易くはありませんが、我々議会人としても更なる研修を積み重ねて議会の活性化を図り、地域の方々の声をしっかりと聴き、住民との協働作業で地域のニーズにあった施策を創造し、そして

行政と連携を密にして十分な議論を交わし、町の進む方向をしっかりと見極め、笑顔の絶えない明るい未来の伊方町を築いていきたいと思っております。

伊方町も平成17年4月に3町(伊方・瀬戸・三崎)が合併して10年を迎えました。この10年を節目に町民と一体感のある議会を目指して山積みされた課題をひとつ一つ乗り越えながら前向きに歩み続けたいと思っております。

町からの お知らせ

伊方町

● 観光交流拠点施設 「佐田岬はなはな」 がオープン!

四国の最西端、豊予海峡に突き出した「日本一細長い」佐田岬半島に、平成27年4月26日(日)、「観光交流拠点施設佐田岬はなはな」が新しくオープンしました。

オープン当日には、八西地域をアピールする「まるごとみかんフェスタ」との合同オープニングイベントが開催され、イベント会場には巨大みかんオブジェが登場しました。

オープン記念式典では、伊方堂々太鼓ジュニアによる元気で勇壮な太鼓演奏がオープニングを飾り、施設愛称入賞者の表彰や愛媛銀行からのサイクルスタンドの贈呈式、鏡開きなどが行われました。会場内に設置されたステージでは、地元学生によるブラスバンド演奏や合唱、地元バンドの方々によるフォークソングライブが行われ盛り上がりました。その他に、町内外から48店の出店があった「はなはな特産市」や佐田岬の海の幸、山の幸「ふるまい」イベ



まるごとみかんフェスタオープニング関係者一同記念写真



伊方堂々太鼓

ント、サイクリングなど多くのイベントが行われました。また今回は特別に、大分県の伝統舞踊である「関の鯛釣り踊り」が保存会の方々により披露され、会場から大きな拍手が送られました。この日、会場は約5,000人の来場者で賑わい、爽やかな青空の下、イベントは大盛況となりました。



大分県の伝統舞踊
「関の鯛釣り踊り」

朝獲れ海峡ブリ
解体ショー



常設展



「観光交流拠点施設佐田岬はなはな」は、年間50万人のフェリー客が利用する三崎港に隣接し、観光情報の発信を目的に、伊方町が新しく整備した施設です。施設内には、観光案内所や地元産品を販売する直売所があります。また、現在町内に3か所あるレンタサイクルステーションの一つでもあります。半島の尾根を走るメロディーラインから眺める四季折々の景色は素晴らしく、ドライブはもちろんサイクリングにも最適なコースです。

南予地域にお出かけの際は、ぜひ足を延ばしてみてください。

はなはなサイクリング



佐田岬しあわせサイクリングマップ



参考

「佐田岬しあわせプロジェクト」
佐田岬では、次の時代の観光地づくりを目指し、訪れた人と交流し、共に学び、継続的な町づくりにつなげていく、佐田岬オリジナルの「まちづくり型観光」を導入しています。その準備やプロモーション期間として平成26年度から平成28年度の3年間をあてており、その事業名を「佐田岬しあわせプロジェクト」とし、ロゴマークを制定しました。



佐田岬
しあわせプロジェクト



生まれ変わるなら

端午の節句。5月5日は「こどもの日」。少子化の中で超高齢化時代に入った日本。14歳以下の子ども数は、年々減少の今、1617万人。うち男子が829万人、女子が788人。34年連続で減少である。総人口に占める割合は12・7%。年齢が下がる毎に子ども数は、減少の一途である。

一方では、子どもに関わる「貧困」が深刻である。現在、所得の低い所帯(平均以下)の子ども達の貧困率(6人に1人)は、かつてない最悪な状態であると云う。ために国は「子どもの未来応援国民運動」を展開、経済的に苦しい子どもらを支援する団体に助成する基金創設など対策を打ち出している。

少子化対策としては、人口増を図るために「人の誕生」を要件として、金銭による支給と移民政策等を実施してきた事例が某国にあるが、果たしてこれが有効と云うよりも適正なものであろうか。ここは、倫理観も含め、各界の学者・知識人総出で知恵を出し合い、わが国独自の「人づくり・国づくり」に繋がる方策・環境等を創造すべきであろう。その良策を「人の誕生・人口増」に結びつけたいものである。さらに成長す

る過程の人間に対しては、内面の育成・教育等が必要であって、心身ともに健康な人づくりを目指さなければならぬ。また、人の道から外れた残忍な事件が、今世で多発しない人づくりこそ、少子化人口増対策以上に求められ、必要とされていることをまず肝に銘じたい。

さて、「生まれ変わるなら、日本」。先ごろ出された日本人の国民性調査では83%を示した。その訳とは①礼儀正しい②親切③思いやりがあるからとのこと。一方、別の調査「国別幸福度ランキング」なるものはデンマーク、ノルウェー、スイスの国が上位を占め、因みに日本国は43位であった。ただ「幸福度」は、そのアンケート、質問提示条件によってかなりの誤差は生じるであろうし、回答する対象者の主観が、大きく左右することも考えられる。

『生まれ変わるなら、日本』に対し、先ごろ国連でのNPT(核拡散防止条約)再検討会議では、日本の意向が実らなかつた事、極めて残念である。

大国と称する国のリーダー諸氏も、真の平和を希求しているものと思いたい。国連の役割とは何ぞ。

わが国は今後、言葉による交渉の努力とともに併せて、生まれ変わる人のために「それなり」の対応策構築が必要な時代になったようだ。

「人間は、今や彼らの用いている道具の道具になってしまった」
(ソロー 米国の思想家)

5月のイベント

- ▽1日(公財)愛媛県市町村振興協会 平成27年度事業等事務説明会
- ▽7日(公財)愛媛県市町村振興協会 長会議、(公財)愛媛県市町村振興協会 長期貸付金受付
- ▽8日(一財)愛媛県廃棄物処理センター 平成26年度事業報告及び収支決算の事務監査、愛媛県企業連合会第44回定期総会、愛媛県人権教育協議会第48回定期総会
- ▽9日(平成)平成27年度愛媛県植樹祭
- ▽11日(一財)愛媛県廃棄物処理センター 平成26年度事業報告及び収支決算の監査、平成27年度全国市町村振興協会・自治体研修機関研究担当協議会(12日まで)、平成27年度地方公務員給与実態調査等説明会、(公財)愛媛県国際交流協会 平成26年度監事監査
- ▽12日(一財)全国自治協会第49回 海外地方行政調査(22日まで)、公務災害実務研修会
- ▽13日(平成)愛媛県水防協議会、メンタルヘルスセミナー
- ▽14日(平成)市町村地方創生担当部長等との意見交換会(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部主催)、自由民主党政務調査会「財政再建に関する特命委員会」災害共済事業等事務研修打合せ(15日まで)
- ▽18日(平成)愛媛県市町村職員共済組合 平成27年度事務周知会
- ▽19日(平成)「町イチ・村イチ2015」出展者説明会(四国地区)
- ▽20日(平成)新規採用職員及び初級職員研修会(23日まで)
- ▽21日(平成)第57回全国町村教育長定期総会・研究大会、第7回農地制度のあり方に関するプロジェクトチーム会合
- ▽22日(平成)平成27年度公務災害防止研修会(メンタルヘルスセミナー)、平成27年度松山市防火連絡協議会
- ▽23日(平成)自民党県連第59回定期大会
- ▽25日(一社)えひめ産業廃棄物協会第3回定期総会、平成27年度公益財団法人愛媛の森林基金理事会(第2回)
- ▽26日(平成)平成27年度町村議会議長・副議長研修会(27日まで)、愛媛県町村議会議長会平成27年度第1回臨時総会
- ▽27日(平成)ダム所在・発電関係市町村全国協議会理事会・定例総会、愛媛県信用保証協会平成27年度第1回理事會、平成27年度愛媛県消防大会、(公財)愛媛県国際交流協会 平成27年度第1回理事會、(公財)愛媛県市町村振興協会事前監査
- ▽28日(平成)全国町村議会議長会都道府県会長会、町村議会議員互助会代議員會、(一財)全国町村議員會館定時評議員會、愛媛県土木協会第66回役員會・定時評議員會、全国簡易水道協議會平成27年度第1回理事會、平成27年度全国簡易水道大会、平成27年度全国簡易水道協議會通常総會
- ▽29日(公社)愛媛県浄化槽協會第24回理事會並びに第5回通常総會、全国町村会政調幹事會及び政調幹事會各委員會
- ▽30日(平成)民主党愛媛県連2015年定期大会

7億円

7等・前後賞合わせて7億円
1等5億円、前後賞各1億円

7千万

総額3億7千万円×110本
7000万円×110本の抽選

夏だ！祭りだ！
大盤振る舞い！！

2015年市町村振興宝くじ

7月8日(水) 同時発売

発売期間
7月8日(水)～7月31日(金)
抽せん日:8月11日(火)
この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

(公財)愛媛県市町村振興協会